

社会福祉充実残額算定シート

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産（a）	404,426,029
負債（b）	129,416,553
基本金（c）	2,000,000
国庫補助金等特別積立金（d）	642,162
合計（a－b－c－d）	272,367,314

- 手入力（必須入力）するセルです（※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」掲載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。）
- 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 手入力するセルです。（不明の場合は、記載要領に従って入力してください）
- 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。
- プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

（1）財産目録における貸借対照表価額	
合計（a）	92,142,161

（2）対応負債	
項目	金額
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0
1年以内返済予定設備資金借入金	0
1年以内返済予定リース債務	0
社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0
設備資金借入金	0
リース債務	0
合計（b）	0

（3）合計	
項目	金額
財産目録合計（a）	92,142,161
対応負債合計（b）	0
対応基本金（c）	2,000,000
国庫補助金等特別積立金（d）	642,162
合計（a－b－c－d）	89,499,999

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用															
財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率					自己資金比率				合計額
						①建設工事費 デフレーター	② 1㎡当たり単価上昇率				①、②のいずれか 高い方の率	③一般的自己 資金比率	④建設時自己資金比率		
							一般的 1㎡当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得価額 (b)	建設時延べ床 面積 (c)	a/ (b/c)			建設時自己資金 (d)	d/b	
合計															

※ 割合は小数点第4位四捨五入。

（3）設備・車輛等の更新に必要な費用	
合計	38,411,664

（4）合計	
項目	金額
将来の建替費用	0
大規模修繕に必要な費用	0
設備・車輛等の更新に必要な費用	38,411,664
合計	38,411,664

4. 「必要な運転資金」

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	215,073,640	12	3	53,768,410

5. 「計算の特例」

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	215,073,640	12	12	215,073,640

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計 304,573,639	計算の特例適用 ※「5. 計算の特例」の適用有無を変更する場合、以下のセルから選択すること。 適用する
活用可能な財産	272,367,314		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	89,499,999		
再取得に必要な財産	0		
必要な運転資金	0		
計算の特例	215,073,640		
合計	-32,200,000		

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

項目	金額
社会福祉充実残額	-32,200,000
社会福祉充実計画用財産	0
合計	-32,200,000

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ((a×b) × c/ (a+c))	
						0